

学校生活におけるマスクの着用の考え方・基本的な感染症対策

マスク着用の考え方



基本的な考え方

- 児童生徒及び教職員については、学校教育活動に当たって、マスクの着用を求めないことを基本とすること。
- ただし、登下校時に通勤ラッシュ時等混雑した電車やバスを利用する場合や、校外学習等において医療機関や高齢者施設等を訪問する場合など、マスクの着用が推奨される場面においては、児童生徒及び教職員についても、着用が推奨されること。
- 基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望したり、健康上の理由によりマスクを着用できない児童生徒もいることなどから、学校や教職員がマスクの着脱を強いることのないようにすること。児童生徒の間でもマスクの着用の有無による差別・偏見等がないよう適切に指導を行うこと。

について通知されました。

ただし、登下校時に混雑した電車やバスを利用する場合等、社会一般においてマスクの着用が推奨される場面では、マスクを着用することが推奨されています。

平時から求められる基本的な感染対策

- ・発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合などには無理をせずに、自宅で休養することが大切であり、ご家庭の協力をお願いしています。
- ・換気の確保
 - 気候上可能な限り常時、困難な場合にはこまめに換気し、十分な換気が確保できない場合には補完的にサーキュレーター等を使用します。
 - 冬季には、室温低下による健康被害が生じないように配慮します。
- ・手洗い、咳エチケットについては引き続き必要です。

